

平成25年5月7日～27日

パイロットフォレスト地区及び別寒辺牛地区で アメリカミンクの生息調査を実施

パイロットフォレストで、5月7日から27日までの約20日間に及ぶ自動撮影装置を用いた野生動物の撮影は、特定外来生物のアメリカミンクの生息状況を確認することを主な目的としていましたが、7箇所での撮影箇所にアメリカミンクは現れませんでした。

最も頻繁に撮影されたのはエゾシカで、エゾタヌキ、キタキツネのほか、鳥類ではカラスが撮影されました。

今年は、春の訪れが遅く動物の動きが鈍いためか、撮影された動物の種類も個体数も少ない状況でした。

また、エゾシカとタヌキの撮影頻度を24年7月の撮影頻度と比較すると

① エゾシカ

24年7月【0.26】25年5月【0.12】【0.17】となっています。

② タヌキ

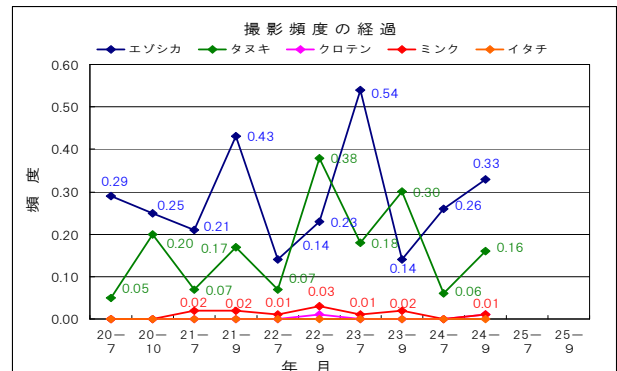
24年7月【0.06】25年5月【0.05】となっています。

現在、この結果をもとに、次回の調査を検討しています。

撮影枚数と撮影頻度

番号	エゾシカ	キツネ	カラス	タヌキ	不明	計(枚)
1	2				1	3
2		2	2			4
3	5					5
4	有効撮影なし					
撮影頻度	0.12	0.03	0.03		0.02	0.20
5	6			3		9
6	2					2
7	2	1				3
撮影頻度	0.17	0.02		0.05		0.23

* 撮影頻度は、稼働時間と撮影枚数で算出しています。



▽ タヌキ



▽ エゾシカ